

驚きの実録

20代の若手記者が、
ジャーナリズムを実践
したら、報道機関
から迫害を受けた！



長崎県の私立高校
で起きたいじめ・自殺
事件を徹底取材。
石川陽一記者が
「いじめの聖域」を
2022年11月に
文藝春秋で出版

第三者委員会がいじめと自殺の
因果関係を報告書で認めて…

被害者家族の
声を報道しな
かった地元紙
「長崎新聞社」

- 隠蔽・偽装の学校
- 学校の肩を持つ長崎県



・共同通信社・石川陽一記者の著作本『いじめの聖域』の「地元メディアが黙殺」という見出しに、長崎新聞社が怒る！



発行元の文藝春秋でなく、石川記者が所属している共同通信社に長崎新聞社がクレーム！



共同通信社の幹部が、いじめ事件を取材し一連の事件の経緯を追った石川記者を執拗に批判！



報道した記者が自社から非難され、報道しなかった新聞社が理不尽な行動をとっても非難されず！

メディア内部の呆れた動き
を、時には怒り、時には
絶望し、それでも被害者
家族に寄り添い、事件を
調べ続けた1人の記者に
よる告発本。

